

厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）  
分担研究報告書

子への HPV ワクチン接種勧奨の関連因子についての web 調査（研究計画）

研究分担者	伊藤 一弥	保健医療経営大学 保健医療経営学部	
研究協力者	村田 節子	第一薬科大学看護学部看護学科	
研究協力者	石橋 元規	医療法人相生会 臨床研究・治験推進部	
	中根 篤史	医療法人相生会 臨床研究・治験推進部	
共同研究者	鞍谷 沙織	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
共同研究者	小西 絢子	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
共同研究者	笠松 彩音	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
共同研究者	迎 恵美子	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
共同研究者	吹田安佐詠	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
共同研究者	松本 一寛	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
研究協力者	前田 章子	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
研究協力者	近藤 亨子	大阪市立大学大学院医学研究科	
		研究支援プラットフォーム生物統計部門	
研究協力者	松浦 知香	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
研究協力者	加瀬 哲男	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
研究分担者	原 めぐみ	佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野	
研究分担者	大藤さとこ	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学
研究分担者	福島 若葉	大阪市立大学大学院医学研究科	公衆衛生学

## 研究要旨

厚生労働省による HPV ワクチンの積極的接種勧奨の2022年4月からの再開を受け、全国120万人を登録する調査会の調査パネルより抽出した11歳から24歳の女子あるいは男子をもつ、30歳から49歳の女性2000人を対象に、2022年2月から3月に、子への HPV ワクチン接種勧奨の意向について、web 調査による横断研究を実施する。調査目的は、母親の子への接種勧奨に関連する要因を検討することである。結果指標は子への接種勧奨の有無とする。要因として、子の年齢・性別、母親の年齢、学歴、職業、所得、性交頻度、子宮頸がん・HPV ワクチン・子宮頸がん検診に関する知識、HPV ワクチン・子宮頸がんに関する情報源、母親自身・近親者の子宮頸がん既往歴、母親自身の子宮頸がん検診受診状況、医師・看護師の勧奨、費用負担、HPV ワクチンの安全性・有効性に関する意識（信頼感・忌避感）、ヘルスリテラシー、積極的接種勧奨再開の影響などを検討する。

### A. 研究目的

日本では2013年の HPV ワクチンの定期接種導入後、接種後の多様な症状（現在では機能性身体症状として整理されている）の報告があったため、長らく積極的な接種勧奨が控えられた状態にあったが、2022年4月に接種勧奨が再開されることとなった。

そこで、今回、11歳から24歳の女子あるいは男子をもつ、30歳から49歳の女性を対象に、母親の子への接種勧奨に関連する要因を検討する目的から、本調査を行うこととした。なお、この調査では、将来

的に HPV ワクチンの男子への接種が進んでいく可能性を考慮して、男子を持つ母親も調査対象とした。

### B. 研究方法

#### 研究デザイン

全国120万人を登録する調査会の調査パネルを用いた web 調査による横断研究

#### 実施時期

2022年2月から3月

## 調査対象

11歳から24歳の女子・男子をもつ、30歳から49歳の女性2000人程度

※スクリーニング調査で子の年齢と性別を調査し、年齢性別でサンプリングを行う。

※子が複数人の場合は1人を指定する。

※子がアレルギー等の医学的な理由でワクチン接種ができないものは除外する。

スクリーニング調査の結果にもとづいて、下表のとおり各層500人以上（結果的に500人を超えても可とする）をサンプリングする。

子の年齢	女子を持つ母親	男子を持つ母親
11～16歳	500人	500人
17～24歳	500人	500人

対象者数の設定根拠：先行研究\*に基づき、子宮頸がん検診を受診しなかった母親が子に対してHPVワクチンの接種勧奨を行う割合を0.009、母親の子宮頸がん検診受診の、子へのワクチン接種勧奨に対するオッズ比を14.6としたとき、有意水準 $0.00098=0.05/51$ （調査項目細目数）、検出力0.8で当該オッズ比を検出するための必要対象者数は296人であった。先行研究が限られること、web調査であることによる不明データの発生やデータ欠損等を考慮し、年齢階級・性別ごとの例数を500人程度とした。なお、本研究で検討する要因は多数であることから、先行研究から情報が得られた「母親の子宮頸がん検診の有無」を仮の要因とした。  
\* Yagi et al.; Vaccines 2020; 8: 502

## 情報収集

全国120万人を登録する調査会の調査パネルからスクリーニング調査により抽出した11歳から24歳の女子あるいは男子をもつ、30歳から49歳の女性2000人を対象に、2022年2月から3月に、子へのHPVワクチン接種勧奨の意向について、web調査による横断研究を実施する。対象年齢の子供が複数人の場合は、スクリーニング調査の時点で、調査対象とする子供を一人に特定する。

スクリーニング調査では家族構成、子の性・年齢（複数人の場合はそれぞれの性・年齢）・アレルギーの有無を聴取する。

## 結果指標

母親の子への接種勧奨の有無とする

## 要因

母親の子への接種勧奨に関連する要因として以下のことなどを検討する。

- 子の年齢・性別
  - 母親の年齢、学歴、職業、所得、性交頻度
  - 子宮頸がん・HPVワクチン・子宮頸がん検診に関する知識
  - HPVワクチン・子宮頸がんに関する情報源
  - 母親自身・近親者の子宮頸がん既往歴
  - 母親自身の子宮頸がん検診受診状況
  - 医師・看護師からの勧奨
  - 費用負担
  - HPVワクチンの安全性・有効性に関する意識（信頼感・忌避・ヘルスリテラシー）
  - 積極的接種勧奨再開の影響
- 調査項目の詳細は別途、資料として添付する。

（倫理面への配慮）

本研究は、保健医療経営大学の倫理審査委員会の承認を得た。

## C. 研究発表（発表雑誌名巻号・頁・発行年等も記入）

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

## D. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし

## 参考文献

- Yagi et al.; Japanese Mothers' Intention to HPV Vaccinate Their Daughters: How Has It Changed over Time Because of the Prolonged Suspension of the Governmental Recommendation? Vaccines 2020; 8: 502
- 原めぐみ, 中野貴司, 石橋元規; 日本人の新型コロナ

ロワクチンに関する WEB 調査, 厚生労働行政推進調査事業補助金 (新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業) ワクチンの有効性・安全性と効果的適用に関する疫学研究 令和 2 年度 総括・分担研究報告書

添付資料：web 調査項目

日本では毎年、約 1.1 万人の女性が子宮頸がんになり、約 2,800 人の女性が亡くなっています。患者さんは 20 歳代から増え始めて、30 歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人も、毎年、約 1,200 人います。日本では、小学校 6 年から高校 1 年相当（12 歳～16 歳）の女子を対象に、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐワクチンの接種を提供しています。HPV の感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できることも分かってきました。

イギリス、オーストラリアなどでは女子の約 8 割がワクチンを受けており、HPV 感染症は性感染症であることから、男子への接種も推奨されています。日本では 2013 年の HPV ワクチンの定期接種導入後、接種後の多様な症状\*の報告があったため、長らく積極的な接種勧奨（接種を勧めること）が控えられた状態にありましたが、2022 年 4 月に接種勧奨が再開されることとなりました。

\*現在では機能性身体症状として整理されています。

そこで、今回、11 歳から 24 歳のお子様がいいらっしゃる、30 歳代から 40 歳代の女性を対象に、お母様の HPV ワクチン接種に対するお考えを明らかにする目的から、本調査を行うことにしました。なお、この調査では、将来的に HPV ワクチンの男子への接種が進んでいく可能性を考慮して、男のお子様がいいらっしゃる方にもご協力をお願いしています

Q-1 あなたのお子様についておたずねします。

1. お子様は HPV ワクチンを接種できないアレルギー等の医学的な理由をお持ちですか？

- はい  
 いいえ

いいえの方だけ以下の質問にお答えください。

Q-2 あなたについておたずねします

2. 年齢はおいくつですか

満\_\_\_\_\_歳

3. 男・女を問わず 11 歳から 24 歳のお子様は何人いらっしゃいますか？

\_\_\_\_\_人

4. お子様の性別と年齢をおしえてください。

- 男  
 女

満\_\_\_\_\_歳

5. 居住地域を教えてください

- 東京都  
 神奈川県  
 埼玉県  
 千葉県  
 その他（\_\_\_\_\_）

6. あなたの最終学歴を教えてください

- 中学  
 高校  
 高等専門学校  
 短期大学  
 大学  
 大学院  
 専門学校

7. あなたが生活を共にする世帯の年収を教えてください

- 200 万未満  
 200 万から 400 万未満  
 400 万から 600 万未満  
 600 万から 800 万未満

- 800 万から 1000 万未満
- 1000 万から 1200 万未満
- 1200 万から 1500 万未満
- 1500 万から 2000 万未満
- 2000 万以上
- 不明

8. あなたの職業を教えてください（非正規雇用も含めます）

- 農林水産業
- 製造業
- 建設業
- 運輸業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 飲食・その他サービス業
- 教育・学習支援業（医療系以外の大学教員を含む）
- 医療・介護・福祉（研究職・大学教員を含む）
- 家事
- 学生（医療・介護・福祉）
- 学生（その他）
- 無職
- その他（                    ）

Q・3 あなたのパートナーについておたずねします。

9. 特定のパートナー（婚姻関係など）はいらっしゃいますか？

- 有
- 無

あなたに特定のパートナーがいらっしゃる場合はお答えください。

10. パートナーの最終学歴を教えてください

- 中学
- 高校
- 高等専門学校
- 短期大学
- 大学
- 大学院
- 専門学校
- 不明

11. パートナーの職業を教えてください（非正規雇用も含めます）

- 農林水産業
- 製造業
- 建設業
- 運輸業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 飲食・その他サービス業
- 教育・学習支援業（医療系以外の大学教員を含む）
- 医療・介護・福祉（研究職・大学教員を含む）
- 家事
- 学生（医療・介護・福祉）
- 学生（その他）
- 無職
- その他（                    ）

不明

**Q-4 HPV** は性感染症です。あなたの感染の機会を知るために性生活についておたずねします。

12. あなたはこれまでに何人の人と性交の経験がありますか？

\_\_\_\_\_人くらい

**Q-5 子宮頸がんに関する知識についておたずねします。**

※この調査以前のことをお答えください。

13. 子宮頸がんは子宮頸部へのHPV感染によって発生する、性感染症であることを、この調査の前から知っていましたか？

知っていた

知らなかった

14. 日本では、子宮頸がん患者が20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人がいることを、この調査の前から知っていましたか？

知っていた

知らなかった

**Q-6 HPV ワクチンに関する知識についておたずねします。**

※この調査以前のことをお答えください。

15. 12歳～16歳の女性は定期接種とあって公費で（自己負担なし）HPVワクチンを接種できることを、この調査の前から知っていましたか？

知っていた

知らなかった

16. 厚生労働省によるHPVワクチン接種に関する積極的な接種勧奨が、2022年4月から再開されることを、この調査の前から知っていましたか？

知っていた

知らなかった

**Q-7 子宮頸がん検診に関する知識についておたずねします。**

※この調査以前のことをお答えください。

17. 定期的な検診（2年に1回）が必要であることを知っていましたか？

知っていた

知らなかった

18. 20歳以上の方は公費で子宮頸がん検診を受けられることを知っていましたか？

知っていた

知らなかった

**Q-8 あなたが普段得ている子宮頸がん、HPVワクチンの情報についておたずねします。**

19. これまで、子宮頸がん、HPVワクチンについてどこから情報を得てきましたか？  
（複数選んでいただいて構いません）

何も情報は得てこなかった

厚生労働省や自治体のホームページ・広報など

医師

看護師

新聞

書籍あるいは雑誌

テレビ・ラジオ

ネットニュース

SNS

You Tube

家族・友人・知人

その他（                    ）

Q-9 あなたの子宮頸がん検診受診状況ならびに受診意向についておたずねします。

20. あなたは子宮頸がん検診を定期的（2年に1回程度）に受けていますか？
- 定期的に受けている
  - 定期的に受けていない

Q-10 子宮頸がんについておたずねします。

21. これまでに子宮頸がんと診断されたことはありますか？
- 有
  - 無
22. これまでに子宮頸がんと診断された方におたずねします。診断された年齢を教えてください。
- 満\_\_\_\_\_歳
- 覚えていない
23. 近親者や知り合いの方に子宮頸がんと診断された方はいらっしゃいますか？
- 有
  - 無
  - 知らない

Q-11 あなたのお子様への HPV ワクチン接種に対するお考えについておたずねします。

※厚生労働省による HPV ワクチン接種に関する積極的な接種勧奨の再開を知った後のお考えをお答えください。

24. HPV ワクチン接種を医師あるいは看護師から勧められたことはありますか？
- 勧められた
  - 勧められていない

お子様が女のお子様の方におたずねします。

Q-11-1 女のお子様に対する接種について

25. 女のお子様に対する HPV ワクチンを受けるよう、お子様に勧めますか？  
（すでに接種している場合、お子様に接種を勧めましたか？）
- 接種を勧める（勧めた）
  - まだ決めかねている
  - 接種を勧めない（勧めなかった）

※17歳以上のお子様についても、厚生労働省による積極的な接種勧奨の差し控えにより、定期接種を受けられなかった世代を対象に、定期接種の年齢を引き上げることが検討されています（キャッチアップ接種）。

お子様が男のお子様の方におたずねします。

Q-11-2 男のお子様に対する接種について

26. HPV ワクチンの任意接種（自費）を受けるよう、お子様に勧めますか？  
（すでに接種している場合、お子様に接種を勧めましたか？）
- 接種を勧める（勧めた）
  - まだ決めかねている
  - 接種を勧めない（勧めなかった）

Q-12 HPV ワクチンに関するあなたのお考えをおたずねします。以下の主張に同意できるか否かをお答えください。

27. お子様への HPV ワクチン接種を決めるときは、かかりつけ医の意見を尊重する。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない

28. HPV ワクチンは子宮頸がんの予防効果がある。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
29. HPV ワクチンの重篤な副反応はまれにしか起こらず、HPV ワクチンは安全である。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
30. 厚生労働省による HPV ワクチン接種に関する積極的な接種勧奨の再開は、科学的根拠にもとづいて行われていると思われる。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
31. 厚生労働省による HPV ワクチン接種に関する積極的な接種勧奨の再開は、HPV ワクチンの子宮頸がんの予防効果について安心感を与える。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
32. 厚生労働省による HPV ワクチン接種に関する積極的な接種勧奨の再開は、HPV ワクチンの安全性について安心感を与える。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
33. 子宮頸がんにかかる可能性は低いと思うので、ワクチン接種は必要ない。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
34. お子様に HPV ワクチンを接種させるのは面倒である
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
35. お子様に性交や性感染症に関する性教育を受けさせるのに抵抗はない。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない



36. お子様に HPV ワクチンを接種するための時間は確保しやすい。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
37. HPV ワクチンの接種を行っている医療施設を見つけるのは容易である。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
38. 自費で任意接種を受けさせることが経済的に可能である  
(1回の接種につき1万5千円～4万円程度を3回)。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
39. 男子を対象とした HPV ワクチンの定期接種の制度があるべきだ。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
40. HPV ワクチン接種は、接種した人の周りの人が感染する機会を減少させることができる
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
41. 10歳代の女子が HPV ワクチンを接種せずとも、20歳以降に子宮頸がん検診を受診すれば十分、子宮頸がんを予防できる。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
42. 男性は HPV ワクチンを接種しなくてもよい。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
43. まわりの子が HPV ワクチンを接種するならば、自分の子も接種してよい。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない

44. HPV ワクチンに関する正しい情報を入手することは簡単である。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
45. HPV ワクチン接種が必要な理由を理解することは簡単である。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
46. HPV ワクチンについて正しく把握できている。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
47. HPV ワクチンの接種は、それが予防する子宮頸がんよりも、もっと深刻な病気やアレルギーを引き起こす。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
48. 行政の HPV ワクチンに関する情報は信頼できない。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない
49. HPV ワクチンには、毒性のある物質が含まれている。
- かなりそう思う
  - そう思う
  - どちらでもない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない

Q-13 他のワクチンに対するあなたの意向をおたずねします。

50. あなたは COVID-19 ワクチンを接種しましたか？
- 接種した
  - 接種しなかった
  - アレルギー等、医学的な理由で接種できなかった
51. あなたは昨シーズンまたは今シーズンにインフルエンザワクチンを接種しました？
- 接種した
  - 接種しなかった
  - おぼえていない
  - アレルギー等、医学的な理由で接種できなかった